再生のウズメ



写真①興梠侑誠（白洲迅）、上杉茉莉花（黒川智花）

第 9 話　11 月 28 日(土)よる12 時 00分

※通常より放送時間が 20 分遅くなります※

話題の癒し系ドラマ、いよいよクライマックス突入！

白洲迅、黒川智花が演じる元恋人たちの物語の終着点！？

黒川智花、NY 生活が人生の転機に！「自分らしくいられる喜び」

白洲迅、共演者から刺激！？「芝居の原点に立ち返ることができた」

イモトアヤコ主演の土ドラ『再生のウズメ』。(東海テレビ・フジテレビ系　毎週土曜日 23 時 40 分放送)
40 歳の元子役・田村ウズメが、12 年間のひきこもり生活を経て、白洲迅演じる便利屋「救ちゃん」の興梠と出会い、「何歳からでも人生はやり直せる」という希望と再生のメッセージを届けるヒューマンドラマも残すところあと 2 話。

明日放送の第 9 話では、興梠(白洲迅)がかつて市役所時代に支援していた元引きこもりの女性・町田奈央(鈴木結乃)をめぐる物語が動き出す。
5 年前、階段から興梠を突き落としケガをさせる事件を起こした奈央。その後行方知れずだったが、そんな奈央から一枚の写真が届けられる。それはかつて興梠と奈央が交わした約束を示すものだった。
その写真から奈央のSOSを感じ取った興梠はウズメたち救ちゃんのメンバーの助けを借りて、奈央の今を探ろうとする。一方、ウズメは、奈央との出会いによってかつての自分を重ねてしまい……

物語の根幹に迫る「かつての自分を救う」エピソードの中で、興梠と元恋人・上杉茉莉花（黒川智花）の関係にも変化が訪れる回になるのだが、そんな興梠を気にかけ続け、彼の変化を静かに見守ってきた茉莉花を演じる**黒川智花**に、役柄への思いや、自身の人生の転機となったニューヨークでの生活について語ってもらった。

●「別れた後もつい気にかけてしまう」黒川智花が語る茉莉花にとっての興梠の存在

茉莉花にとって元恋人のロギーですが、彼の優しさと不器用さ、その誠実さを知っているため、別れた後もつい気にかけてしまう、そんな存在です。ロギーの力になりたいと常に思っていて、彼のことを理解し、尊重しながら支えている女性だと感じました。まじめで優しい性格ですが、ロギーに対する複雑な思いから自らも少しずつ変化して、ロギーにとって重要な存在となります。

茉莉花は何よりも他人を思いやることから行動を始めますが、ロギーへの思いから様々な感情が交錯します。その茉莉花の繊細な心の動きを丁寧に表現できたら、と思っています。



写真②　上杉茉莉花（黒川智花）
興梠侑誠（白洲迅）

●「茉莉花なりの距離感で見守る」第９話で描かれる元恋人同士の関係

ロギーが少しずつ変わっていることに茉莉花は気づいていると思います。その変化も理解してロギーを支えたいという思いで、茉莉花なりの距離感で見守っているようなイメージを持っています。

第９話はロギーと茉莉花のふたりのシーンが１シーンあります。ロギーが市役所職員時代から少しずつ変わっていることを理解して、茉莉花なりの距離感でロギーを見守っているようなイメージを持って演じました。

ロギーをはじめ救ちゃんメンバーとの関わりも大切にしながら、自分の意思で新たな一歩を踏み出そうとしている茉莉花。そんな彼女の人生も応援していただきたいです！



写真③　上杉茉莉花（黒川智花）

●NY 生活が人生の転機に！「自分らしくいられる喜びを改めて実感」



写真④ 上杉茉莉花（黒川智花）

最近でいうと、ニューヨークで生活した経験が、自分の中で大きな転機になりました。年齢や国籍、価値観、生き方などが異なる人たちが、それぞれのスタイルで暮らしていて、そんな環境に身を置くことで、無意識に仕舞っていた自分の一面を少しずつ出せるようになりました。そして、そのありのままの自分を受け入れてくれる人たちに出会えたことで、自分らしくいられる喜びを改めて実感しました。

人との出会いや繋がりによって、自分自身を取り戻し、新たな一歩を踏み出していく『再生のウズメ』の物語とも通じるものがあるのではないかと思います。

●「人との出会いや繋がりは、自分らしさを再発見するきっかけに」

人生で立ち止まったときに支えになったものは、これまで出会ってきた人たち。そしてこれから広がるご縁がまた支えになってくれると思います。主人公のウズメが元々持っていた明るさやパワーを少しずつ取り戻していくように、人との出会いや繋がりが時に自分らしさを再発見し新たな一歩を踏み出すきっかけになるのだと、作品を通して改めて感じました。

これまで支えてくれた人たちへの感謝を忘れず、これからのご縁も大切にしていきたいです。



写真⑤ 上杉茉莉花（黒川智花）

ウズメの再生を支える一方で、彼女との出会いによって自身も変わってきた興梠（ロギー）。そんなロギーの繊細な心の変化を丁寧に演じてきた**白洲迅**は、2人の関係をどう捉えているのか。共演者との交流を通じて得た新たな気づきや、印象深いシーンを聞いた。

●「ウズメとの出会いが壁を壊してくれた」白洲迅が語るロギーの“再生”



写真⑥ 興梠侑誠（白洲迅）、田村ウズメ（イモトアヤコ）

ロギーは、いろんな過去を抱える中で人と距離を取るようになり、自分の中に壁を作っていたんだと思います。でもウズメと出会ったことで、その壁がなくなっていった。忘れていた本来の自分を取り戻していったんですよね。それがロギーにとっての「再生」だったんじゃないかなと思います。やっぱりそこが一番大きな変化ですね。

●「芝居の原点に立ち返ることができた」共演者からの刺激と新たな気づき

イモトさんとの出会いは大きかったですね。ほかの共演者のみなさんもそうですが、改めて芝居に対する向き合い方や誠実さを考えさせられる現場でした。今回、ほぼ初めての現場という晃太朗もいて、そういう姿を見ていると自分もいろんなことに立ち返るんですよね。普段から気をつけているつもりでも、忘れかけていたことがあったり、役への向き合い方や台本の読み方、セリフの覚え方といった基本的な部分でも「あ、自分はここを忘れていたな」と気づかされたり。改めて芝居の原点に立ち返ることができた現場だったと思います。



写真⑦ 興梠侑誠（白洲迅）、田村ウズメ（イモトアヤコ）

●「自然と言葉がこぼれ出た」仲間との絆が生んだ第 8 話の名シーン

やっぱり8話で「救ちゃん」のみんなに「助けてほしい」と伝えるシーンは忘れられないですね。ロギーにとって、その一言を口にすることはものすごくハードルが高いことだったので、ちゃんと言えるかなという不安もありました。でも本当に空気のいい現場で、みんなとも仲良くなっていたので、いざそのシーンになって一人ずつ顔を見たら自然と言葉がこぼれ出た気がします。とても思い入れの深いシーンですね。



写真⑧ 左から 興梠侑誠（白洲迅）、田村ウズメ（イモトアヤコ）、
小田切舞（大原梓）、鮫島奏（柴野晃太朗）、鳩山繁則（相島一之）

＊＊＊

●朝食＆のど飴は欠かせない！　黒川智花の撮影現場のマイルールとは！？

Q 撮影現場でのマイルールや、毎回欠かさず行っているルーティンはありますか？

基本的に、朝ごはんは食べるようにしています。長時間にわたる撮影を元気に乗り切るためにも、朝食は欠かせません。撮影中も喉のケアを意識していて、のど飴などをポーチに入れて、いつでも取り出せるようにしています。体調を整え、気持ちよく撮影に臨めるようにすることが、私のマイルールです。

撮影現場に必ず持っていく必需品は、マイボトルです。最近は、しょうが紅茶やハニールイボスティー、漢方茶など、その日の気分に合わせてお茶を選んでいます。どれもオススメです！身体を冷やさないよう、温かい飲み物を手軽に取り入れられるマイボトルは、この季節の撮影現場に欠かせないアイテムです。

●便利屋の利用経験あり！　黒川智花が「救ちゃん」に頼みたいこととは

最近、実家の家具の取り付けを便利屋さんにお願いしたんです。作業をテキパキと、感じよく対応していただいて、本当に助かりました。なので、家具の組み立てなど、一人では難しいことをお願いしたいです！



写真⑩　鮫島奏（柴野晃太朗）

●「救ちゃんメンバーとカラオケに行きたい！」

柴野晃太朗の可愛らしい依頼

一緒にカラオケに行ってほしいです！東京にいると友達が少なくて、カラオケに行く機会がないので、「救ちゃん」のメンバーとカラオケで歌いたいです！！

得意な曲は結構ありますが、wacci さんの「恋だろ」や back number さんの「水平線」、菅田将暉さんの「さよならエレジー」も、よく歌わせていただきます。ストレス発散にもなりますし、みんなと一緒に楽しめるので、「救ちゃん」メンバーと行けたら嬉しいな～。

＊＊

＜第９話 見どころ＞

●「羽の生えた猫」の写真に隠されたSOS！？

元引きこもり女性を救え！ ウズメが清掃バイトに潜入！

便利屋「救ちゃん」の興梠（白洲迅）が、ウズメ（イモトアヤコ）や鳩山（相島一之）ら仲間たちに助けを求める。それは、かつて市役所時代に支援していた元引きこもりの女性・町田奈央（鈴木結乃）のことだった。興梠のもとに届いた一枚の写真。そこには、かつて奈央と交わした「羽の生えた猫の写真を撮る」という約束が隠されていた。しかし、興梠はその写真から奈央のSOSを感じ取り、彼女の行方を探し続けていたのだ。事情を知ったウズメは、同じ引きこもり経験者として奈央の力になりたいと、彼女が働く清掃会社にアルバイトとして潜入することに！ ところが、奈央は話しかけてもほとんど反応せず、心の壁は想像以上に高く……。果たしてウズメは、奈央の心を開くことができるのか！？



写真⑪ 左から 興梠侑誠（白洲迅）、田村ウズメ（イモトアヤコ）
小田切舞（大原梓）、鳩山繁則（相島一之）、鮫島奏（柴野晃太朗）



写真⑫ 田村ウズメ（イモトアヤコ）

●「過去は変えられない。でも、未来は変えられる」 約束の行方は！？

なかなか心を開いてくれない奈央に、悪戦苦闘するウズメ。そんな中、興梠から借りたカメラをきっかけに、少しずつ奈央との距離が縮まり始める。さらに、自身が 12 年間引きこもっていた過去や、再び外の世界へ踏み出した経験を語るウズメ。しかし、奈央が抱える心の傷は想像以上に深いものだった。一方、興梠もまた、5 年前に奈央との間で起きた事件を引きずっていた。興梠の元恋人・茉莉花（黒川智花）が問いかける、あの日の出来事。なぜ興梠は奈央を気にかけ続けるのか？ そして、奈央が自分自身を責め続ける理由とは？

かつて誰かに手を差し伸べてもらったウズメが、今度は奈央に手を伸ばす。過去の傷と向き合いながら、もう一度未来へ踏み出そうとする人々の姿を描く第９話。



写真⑬ 町田奈央（鈴木結乃）



写真⑭ 左から 町田奈央（鈴木結乃）、田村ウズメ（イモトアヤコ）、興梠侑誠（白洲迅）

［第９話　未来への約束］

興梠(白洲迅)がウズメ(イモトアヤコ)や鳩山(相島一之)たち救ちゃんメンバーに助けを求める。それはかつて市役所時代に担当した元引きこもりの女性・町田奈央(鈴木結乃)のことだった。興梠に届けられた一枚の写真から奈央のSOSを感じ取った興梠は彼女をずっと探していたのだった。元引きこもりで同じような境遇だったウズメは自分が奈央に会いに行く、と言う。彼女の気持ちが分かるのは自分だから、と。奈央が働いている清掃バイトにもぐりこんだウズメはそこで奈央と仲良くなろうとするが、そのハードルはなかなか高く…。ウズメははたして奈央の心の扉を開くことはできるのか！？



写真⑮　興梠侑誠（白洲迅）



写真⑯　町田奈央（鈴木結乃）



写真⑰　町田奈央（鈴木結乃）、田村ウズメ（イモトアヤコ）



写真⑱　左から　田村ウズメ（イモトアヤコ）、興梠侑誠（白洲迅）
町田奈央（鈴木結乃）

放送概要

【タイトル】	土ドラ『再生のウズメ』
【放送時間】	2026 年 10 月 3 日(土)～12 月 5 日(土)予定＜全 10 話＞ 毎週土曜日 23 時 40 分～ 東海テレビ・フジテレビ系全国ネット
【出演】	イモトアヤコ 白洲迅 大原梓 柴野晃太朗 / 前田美波里 / 黒川智花 和田聰宏 /相島一之 菅原大吉 市毛良枝
【企画】	稲吉 豊(東海テレビ) 伊藤 真保(東海テレビ)
【原作】	天堂 きりん『再生のウズメ』（祥伝社 FEEL COMICS）
【脚本】	鎌田 智恵
【音楽】	鈴木 ヤスヨシ
【主題歌】	MAZZEL 「Touch」(ユニバーサル ミュージック)
【オープニングテーマ】	レトロリロン「Dear」(ユニバーサル ミュージック)
【演出】	水取 拓也
【プロデューサー】	松本 圭右(東海テレビ) / 河角 直樹(東海テレビ) 古林 都子(The icon) / 渋谷 未来(The icon)
【 制作 】	東海テレビ / The icon

本件に関する問い合わせ先

東海テレビ 東京編成部　伊藤光輝　電話 03(3503)1391
メディアマーケティング部　角 あかり　電話 052(954)1131